

CSR REPORT

2019年

CSR報告書



1. トップメッセージ

世界経済の著しい発展の陰で、地球規模での環境破壊が深刻化し人間社会の大きな痛みとなって表れてきています。一方、環境の改善を行う為に循環型社会形成推進基本法の整備も行われ、廃棄物の発生量を減らし、発生した廃棄物は再資源化に移行する等、排出事業者の3Rの意識は年々高まってきました。今後、持続可能な社会発展をさせていくには、循環型社会を構築しリサイクルへのあらゆる可能性にチャレンジしていくことが必要不可欠です。当社は1966年の創業から53年にわたり環境をテーマにお客様の課題解決を通じて社会と産業の発展に貢献して参りました。今後も、これまで蓄積してきた経験に新しい発想を取り入れながら地域に根差した *Good Company* = 「**選ばれる企業**」を目指していきますので、皆様のますますのご指導、ご厚情、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。



鈴木工業株式会社
代表取締役
鈴木 伸彌

目次

1. トップメッセージ	…	1
2. SDGsへの取り組み	…	3
3. 2018年度産業廃棄物処理状況	…	5
4. 環境貢献活動	…	7
5. IMS -統合マネジメントシステム-	…	9
6. 社会貢献	…	11
7. BCM -事業継続マネジメント-	…	15
8. 測定結果	…	17



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

2. SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



鈴木工業のSDGs

SDGsでは、全ての人々が平和と豊かさを享受できるようにすることを目標とし、地球上の誰一人を取り残さないことを誓っています。私たち鈴木工業株式会社はこの開発目標に賛同し、事業活動を通じて、持続可能な社会の構築、問題解決に取り組んでまいります。

環境・エネルギー

産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの促進、再生可能エネルギーの積極活用で持続可能な社会の発展に貢献します。



産業廃棄物の適正処理 (P5)



電気自動車の導入 (P7)



再生可能エネルギーの活用 (P8)



インフラ・メンテナンス

上水・下水道施設の清掃や各種設備のメンテナンスを通じて、地域環境の保全や飲料水などの生活衛生の向上に貢献します。



上水・下水道施設の清掃



各種設備点検



生活・教育

BCM（事業継続マネジメントシステム）による災害時の早期復旧・事業継続で地域の復興に貢献します。また、子供・若者の健全育成を支援する活動にも力を入れております。



みんなの森活動 (P11-12)



若者健全育成支援活動 (P14)



事業継続マネジメント (P15-16)



3. 2018年度産業廃棄物処理状況



産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」

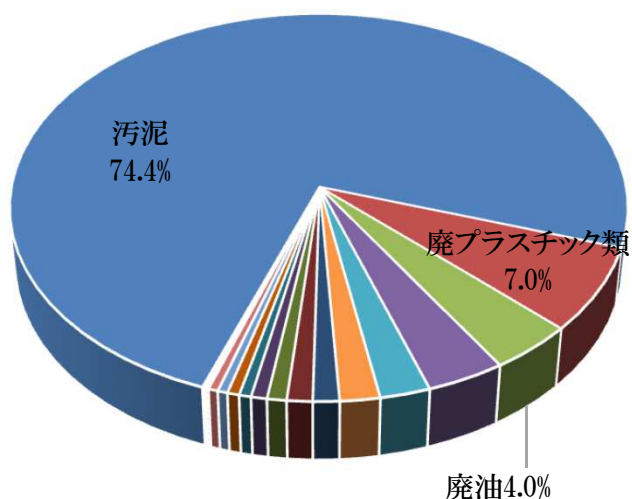
鈴木工業株式会社は「ISO9001」「ISO14001」「OHSAS18001」の認証取得により、環境と労働安全衛生に十分な配慮をしながら品質の向上に取り組み続けております。各処理施設に必要とされる技術資格者を配置し、確かな技術で廃棄物の処理・リサイクルを行ない、法令遵守の下、地球環境の保全に努めてまいります。

2018年度に弊社の処理施設へ受け入れた産業廃棄物の総量及び処理状況です。多品目の廃棄物に対して、適切な処理施設にて中間処理を行い、廃棄物の減容化、リサイクルに努めております。

■ 受入総量及び品目割合

産業廃棄物受入総量

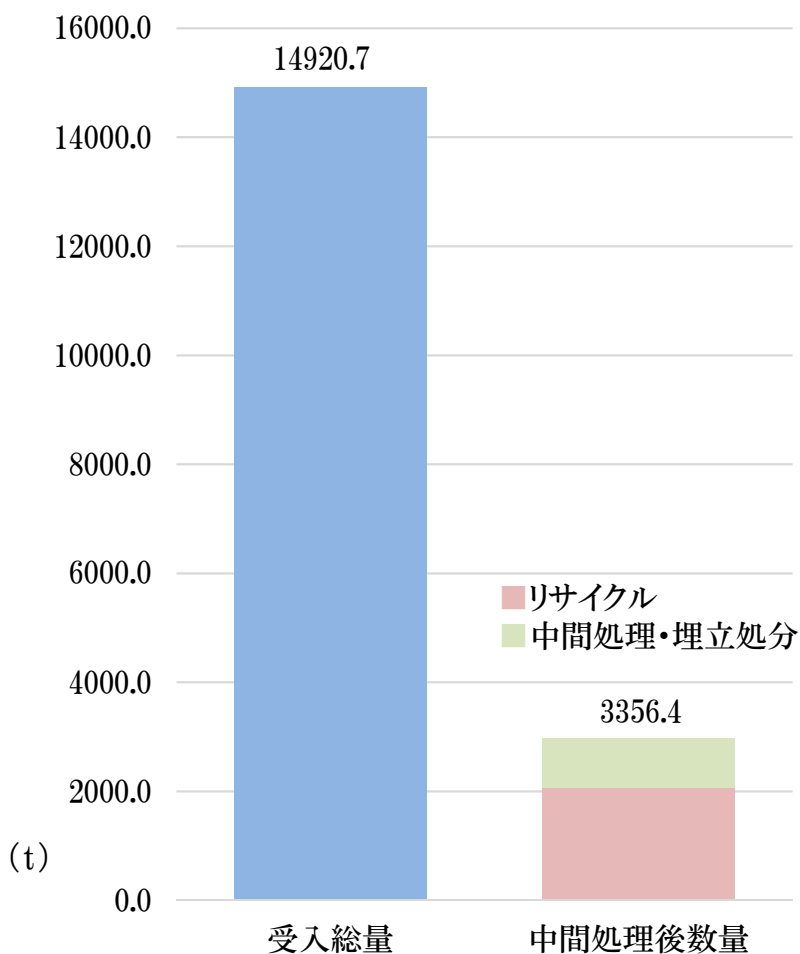
14920.7t (前年度比7.9%減)



◆ 品目割合

産業廃棄物の種類	受入量(t)	割合(%)
◆ 汚泥	11105.4	74.4
◆ 廃プラスチック類	1047.2	7.0
◆ 廃油	603.9	4.0
◆ 動植物性残さ	557.5	3.7
◆ 感染性産業廃棄物	355.9	2.4
◆ 木くず	282.4	1.9
◆ 引火性廃油	186.4	1.2
◆ 金属くず	180.7	1.2
◆ 廃酸	136.8	0.9
◆ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	112.0	0.8
◆ 廃アルカリ	84.3	0.6
◆ 燃えがら	84.1	0.6
◆ 汚泥(有害)	70.6	0.5
◆ 動物系固形不要物	68.1	0.5
◆ 燃えがら(有害)	21.0	0.1
◆ 強酸	11.3	0.1
◆ 強アルカリ	6.7	0.1
◆ 紙くず	6.1	0.1未満
◆ 繊維くず	0.4	0.1未満

産業廃棄物処理状況



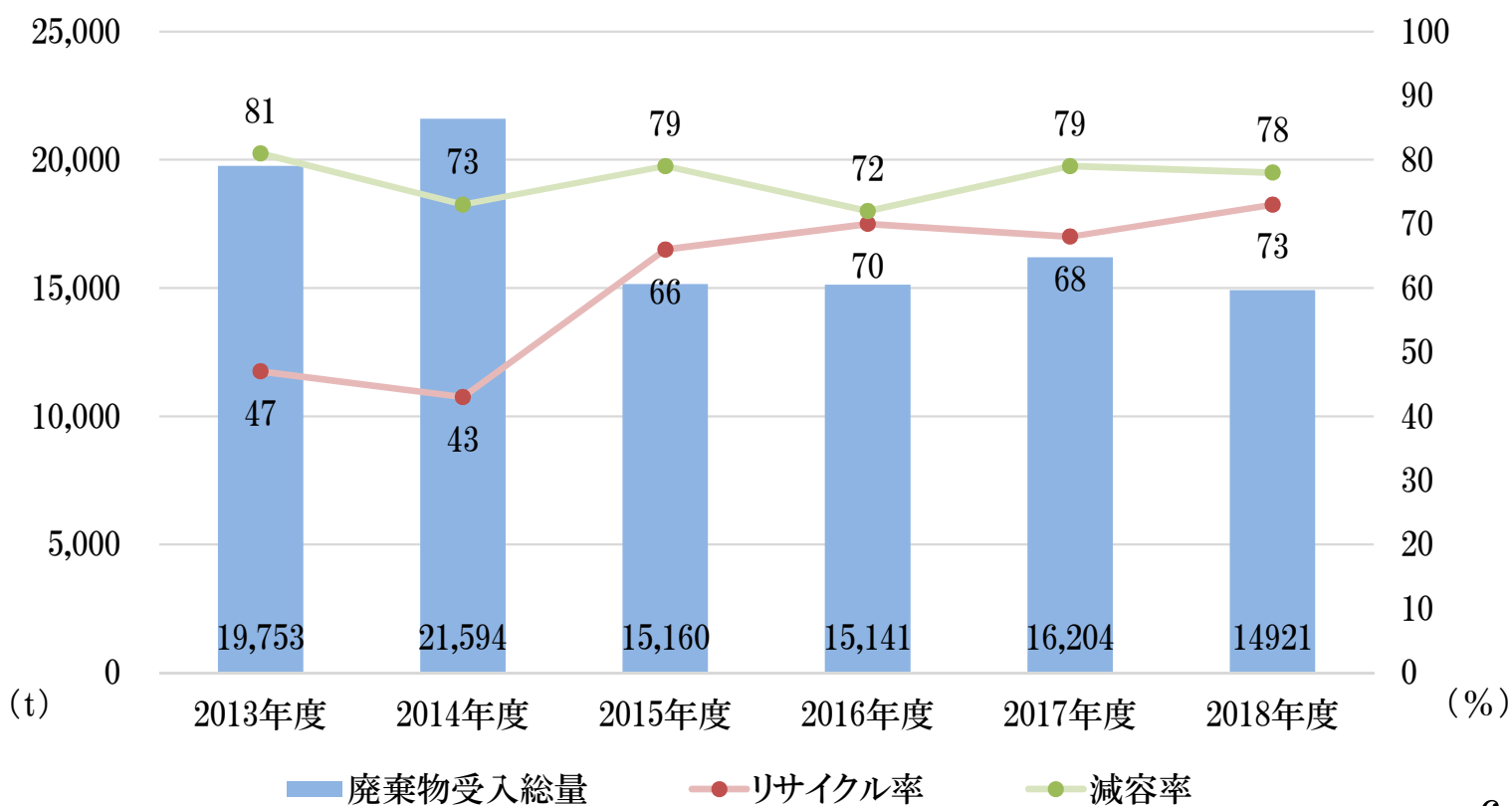
減容率

廃棄物受入総量	: 14920.7t
中間処理後数量	: 3356.4t
減容率	: 77.5%

中間処理後の処理

リサイクル	: 2448.4t
中間処理・埋立処分	: 908.1t
リサイクル率	: 72.9%

処理状況推移



4. 環境貢献活動

電気自動車によるCO₂排出量削減

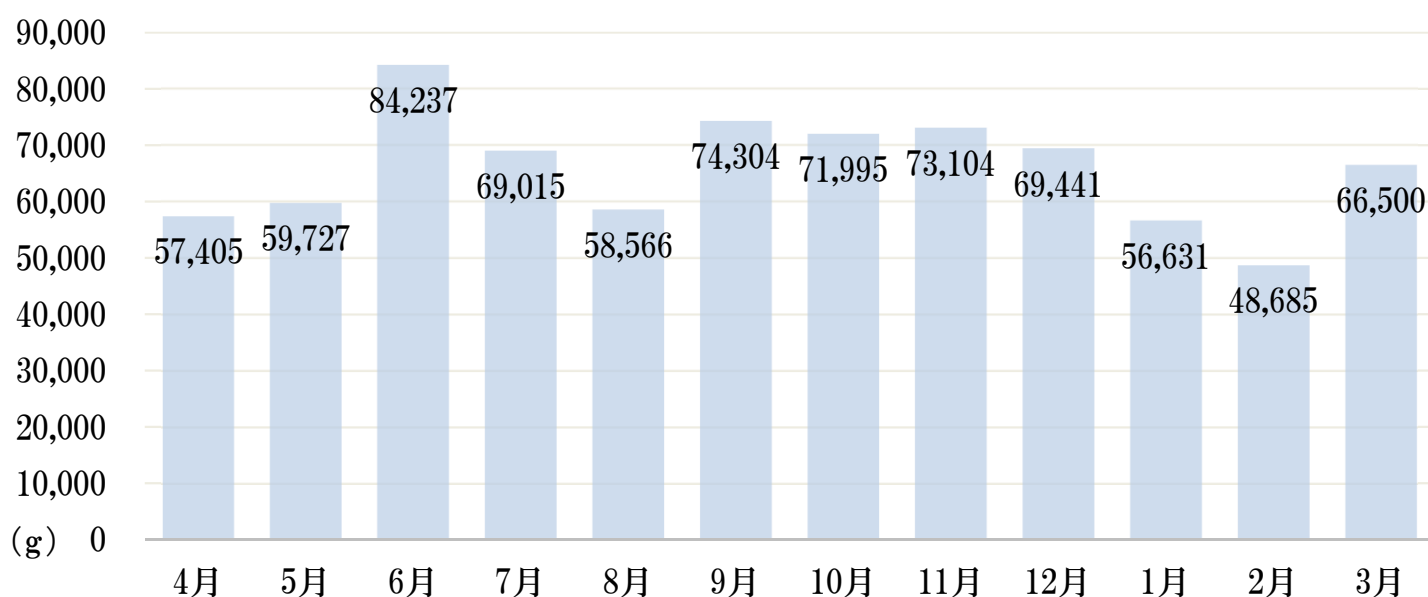
三菱自動車製電気自動車「i-MiEV」の使用によるCO₂排出削減量のグラフです。電気自動車の稼働率を高める事により、CO₂排出量の削減に努めます。

2018年度のCO₂排出削減量は杉の木56本分相当となりました。



三菱自動車製電気自動車「i-MiEV」

■ 電気自動車利用によるCO₂排出削減量



※ 電気自動車1km走行当たりのCO₂排出削減量 =

普通自動車1km走行当たりのCO₂排出量 - 電気自動車1km走行当たりのCO₂排出量

CO₂排出削減量合計 789,609 g (前年度比3.41%増)

杉の木の年間CO₂吸収量、約14kgをもってCO₂排出量を換算

杉の木 約56本分のCO₂削減

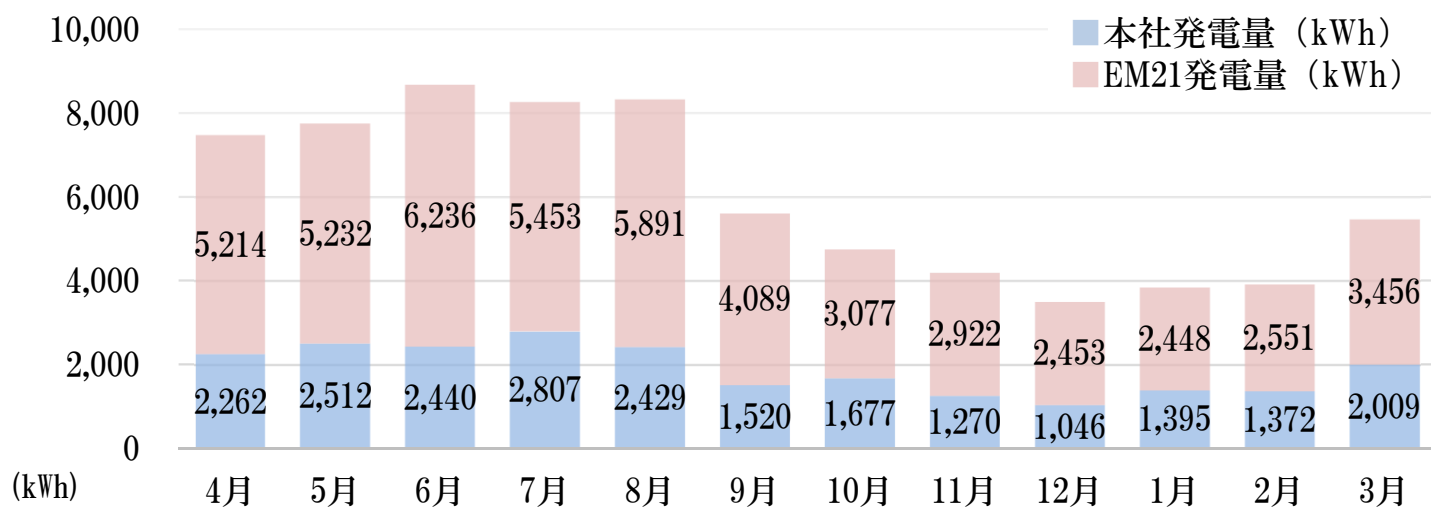
太陽光パネル・ ハイブリッド照明 による発電

本社及びエコミュージアム21には太陽光パネル、ハイブリッド照明を設置しています。太陽光パネルにより発電した電力は、電力会社へ売電を行い環境負荷低減に貢献しております。風力と太陽光併用のハイブリッド照明で発電した電力は、内蔵バッテリーに蓄電され夜間照明に使用されております。

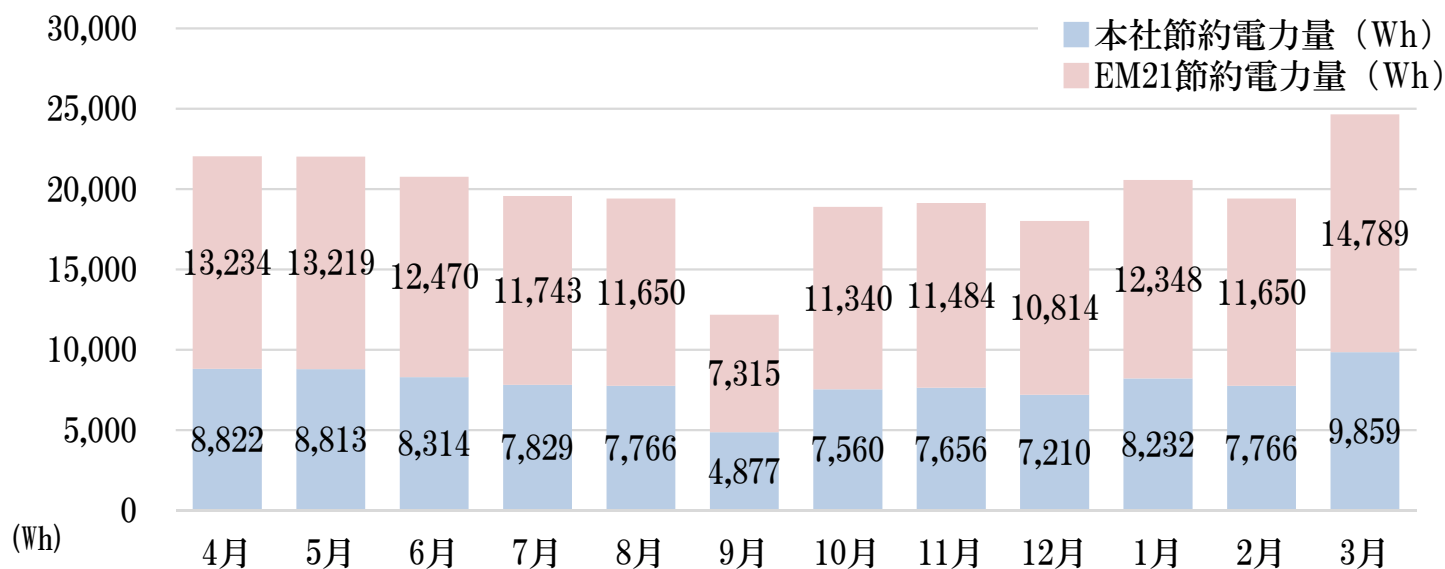


屋上設置の太陽光パネル

■太陽光パネル



■ハイブリッド照明



5. IMS -統合マネジメントシステム-

鈴木工業株式会社では環境と労働安全衛生に十分な配慮をしつつ、お客様に提供するサービスの品質向上を目指しております。そのための管理手法として各種認証規格を取得しております。

■ 統合マネジメントシステム(Integration Management System)

ISO9001、ISO14001の2015年版移行に伴い、品質(ISO9001)、環境(ISO14001)、労働安全衛生(OHSAS18001)3つのマネジメントシステムを統合して運用しております。

◆ 基本理念

鈴木工業株式会社は、

お客様に満足していただくために、高品質のサービスを効率よくお約束どおり実施します

地球環境に配慮した企業活動が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動から生じるあらゆる環境側面・環境影響の改善を通じ、環境保全の更なる向上を目指します

「人命尊重」を第一とした労働安全衛生への取り組みを推し進め、労働災害の防止と職場環境の更なる向上を目指します

◆ IMS方針

1.顧客満足の取り組み

お客様の視点で考え、常に変革と改善を求めて行動します。

プライドと責任をもって、确实かつ適切に行動し、「満足」から「感動」の実現を約束します。

2.環境負荷低減の取り組み

産業廃棄物の適正処理により、「環境保全」「減容化」「再資源化」を推進し、環境負荷の軽減を図り自然および地域社会との協和に取り組みます。

3.無事故、無災害の取り組み

労働災害および公衆災害の防止は企業の社会的責任と位置づけ、当社で働く全従業員の安全と健康を確保し快適な職場環境を作ります。

4.法令・規則事項の順守

事業活動に伴い適用される全ての法規制、そのほか当社が同意した要求事項・自主基準を順守します。

5.継続的改善

当社の事業活動において生じる課題、利害関係者の要求事項、環境影響・重大リスクを特定、目標を設定し、定期的に確認見直しを行い、継続的な改善を推進します。

6.意識の向上

IMS方針は全従業員が理解できるように研修、掲示板等を通じて組織の管理下で働く人々に対し周知します。

7.方針の公開

IMS方針はホームページ等を通じて一般の人が入手可能なものとします。

鈴木工業株式会社
2017年10月1日

教育・訓練

地震や火災のほか、業務に欠かすことのできない車両、機器の扱いについて教育・訓練を行いました。



2019年2月22日「緊急事態訓練」



2018年4月6日「吸引車講習」

資格取得支援

資格取得者の増員による業務の質向上を目的に、社員の資格取得を支援しております。さらなる技術向上を目指し、研修会等にも積極的に参加しております。

◆2018年度の資格取得者数

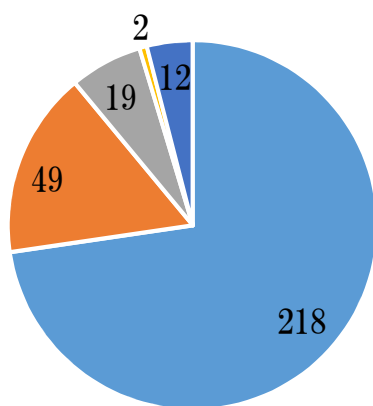
資格	取得人数
1級土木施工管理技士	1名
2級土木施工管理技士	1名
第1種電気工事士	1名
給水装置工事主任技術者	2名
下水道技術検定(第3種)	1名
運行管理者	2名
第1種衛生管理者	2名
高圧洗浄士	1名
危険物取扱者(乙種第4類)	4名

ヒヤリハット 集計・分析

各部署の社員より挙げられたヒヤリハットを集計し分析を行いました。憶測や慣れからくる人的要因が事例の多くを占める結果となりました。

運転時のヒヤリハットに関してはドライブレコーダーの映像を研修会で上映し社内で共有することで、再発防止に役立てております。

◆ヒヤリハット件数



■ 人的要因	：	218件
■ 環境要因	：	49件
■ 機械要因	：	19件
■ 管理要因	：	2件
■ その他	：	12件



2018年7月28日「第二回社内研修会」

6. 社会貢献

わたしたちの 森づくり事業 『みんなの森』

鈴木工業株式会社は、宮城県利府町役場北方に位置する県有林に「みんなの森」と名付け、宮城中央森林組合及び宮城県森林インストラクター協会のご協力を得て社員や社員の家族、仙台市内の保育園児を招いての森林整備を実施しております。そのほかにも森の観察会などの自然環境活動の場として活用しております。この事業で温暖化防止に寄与するCO₂の吸収量は、年間で約30tの見込みです。



六丁の目 マザーグース 保育園

今回は「六丁の目マザーグース保育園」の園児を招き合同で活動を行いました。巣箱作りや小枝切り体験、森で手に入れた材料を使ってのネイチャークラフトなど盛りだくさんの内容となりました。



社会福祉法人 「わらしべ舎」

みんなの森活動ではBCM（事業継続マネジメント）訓練の一環として、炊飯訓練も行っています。

今回は社会福祉法人「わらしべ舎」にて製造・販売しているカレーを使用しました。大きな手羽元が入ったカレーに参加者一同大満足でした。



大崎八幡宮 松焚祭 裸参り

国寶大崎八幡宮で行われる「松焚祭」は全国でも最大級の正月送りの行事です。1月14日の夜、境内の一角に近郷近在より持ち寄られた門松・注連縄・松飾り等は、日没の頃「忌火」により点火され焚き上げられます。この火は正月の間に各家庭を訪れていた神々を送る「御神火」として、あたると心身が清められ、一年間無病息災・家内安全の加護を得ると言い伝えられています。

鈴木工業株式会社は、この「御神火」を目指して参拝する「裸参り」に参加しております。2018年度は32名が参加しました。

2019年1月14日「大崎八幡宮松焚祭」



若者の 健全育成 支援活動

若者の健全な心と体を育む活動を応援するため、教育機関等に対する支援活動を行っております。

2018年度はベガルタ仙台様、仙台89ers様のご協力をいただき宮城県内の高校のサッカー部、バスケットボール部への支援活動を実施しました。

活動内容

- 運動用具寄贈
- 公式戦招待

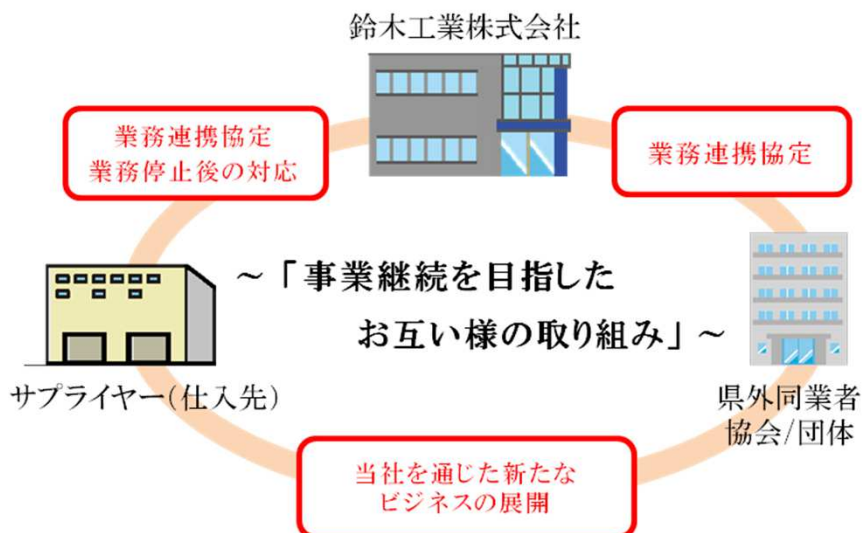


清掃 ボランティア

鈴木工業株式会社では、地域清掃活動のお手伝いを積極的に行っております。写真は亘理町主催の地域清掃ボランティアの様子です。今後も生活環境の美化と背自然環境保全のため、清掃活動に協力してまいります。



7. BCM -事業継続マネジメント-



BCM(事業継続マネジメント)とは、組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させる為の活動を指します。鈴木工業株式会社では、協力先企業であるサプライヤー(仕入先)や県外同業者や協会団体へ、非常事態時の連携強化となる「お互い様の取り組み」を提案し、互いの事業継続能力の維持・改善を進めております。

活動内容

事業継続計画の継続的な改善や全社員に対する教育・訓練等を計画・実施する組織としてBCP委員会を設置しております。2018年度の活動内容をまとめました。

活動	内容
2018年 6月12日	『中小企業のためのBCPセミナー』 (大分県佐伯市) BCMによる復旧復興について講演
2018年 7月28日	社内研修会 安否確認システム訓練
2018年 7月31日	『中小企業のためのBCPセミナー』 (熊本県熊本市) BCMによる復旧復興について講演
2018年 9月29日	炊飯訓練 発電機を用いた炊き出し訓練
2018年 11月5日	『BCPセミナー』 (愛知県名古屋市) BCMによる復旧復興について講演
2018年 11月26日	災害廃棄物対策東北ブロック協議会 処理場視察 東日本大震災時の災害廃棄物処理について講演
2019年 1月12日	安全大会 緊急対応図上訓練 社内非常用電源について
その他	BCPカード記載内容の更新、備蓄品の買い替え、非常用電源の点検



BCMに関する 講演活動

鈴木工業株式会社は東日本大震災により甚大な被害を受けました。当時の被災状況、BCMによる早期復旧の経験を講演しております。

今後も被災地企業の責務として、BCMの普及に貢献してまいります。



2018年11月5日「BCPセミナー」

処理場視察

災害廃棄物対策東北ブロック協議会の方々33名が、中間処理施設の視察にいらっしゃいました。処理設備の仕組みや東日本大震災時の災害廃棄物処理の経験についてご紹介致しました。



2018年11月26日「災害廃棄物対策東北ブロック協議会」の方々



8. 測定結果

産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」では分析室を設け、焼却施設から排出される焼却灰・ばいじん、脱水施設から下水道放流する排水等の自主分析を行い、排出基準を遵守するよう努めております。また、搬入される産業廃棄物について、有害な物質が含まれていないか調べる場合があります。

■ 焼却処理施設排ガス測定結果

	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	硫黄酸化物 (m ³ N/h)	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 (mg/m ³ N)	窒素酸化物 (ppm)	水銀 ガス状 (μg/m ³ N)	水銀 粒子状 (μg/m ³ N)
2018/6/11	-	0.035	0.015	8.8	32	3.1	0.009
2018/6/12~ 2018/7/10	0.19	-	-	-	-	-	-
2018/6/28	-	0.04	0.005	88	42	0.21	0.011未満
2018/12/10	-	0.051	0.006	15	24	1.9	0.003
2018/12/17	-	5.7	0.005	2.0未満	25	-	-
2018/12/17~ 2019/1/18	0.081	-	-	-	-	-	-

焼却処理施設から排出されるガスは年に1回以上、検査機関に依頼し測定しております。

■ 焼却処理施設維持管理状況

	実施日
ばいじん除去及び冷却設備メンテナンス	4/15、4/16、5/18、5/19、6/24、6/25、7/29、7/30、8/15、8/16、9/9、9/10、9/30、10/1、10/21、10/22、11/11、11/12、12/2、12/3、12/24、12/25、1/6、1/7、2/3、2/4、2/24、2/25、3/17、3/18

除去したばいじんについては最終処分場にて埋立処理及び、中間処理場にて処理しております。

■ 有機汚泥処理施設放流水

種類 [単位:mg/l(pH除く)]	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え 9未満	7.9	7.6	7.1	7.7	7.5	6.7	6.9	7.5	7.5	7.1	7.0	7.2
BOD	600	23	-	-	6.2	-	-	1.8	-	-	34	-	-
SS	600	32	-	-	16	-	-	1.9	-	-	60	-	-
ノルマルヘキサン 抽出物質	30	0.6	-	-	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-	1.0	-	-
亜鉛含有量	2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄含有量	10	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3	0.3未満	0.3未満	2.2	0.3未満	0.5	0.3未満	4.2
鉛及びその化合物	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
トリクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ジクロロメタン	0.2	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
四塩化炭素	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1-ジクロロエチレン	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,1-トリクロロエタン	3	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ふっ素	8	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
ほう素	10	0.3	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.3	0.2未満	0.2未満	0.3	0.2未満	0.2未満	0.4	0.2
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380	46	-	-	0.5	-	-	1	-	-	3.9	-	-

■ 無機汚泥処理施設放流水

種類 [単位:mg/l(pH除く)]	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え 9未満	7.0	7.1	7.1	7.5	7.4	7.0	7.0	7.1	7.3	7.1	7.1	7.1
BOD	600	2.6	-	-	1.4	-	-	1.3	-	-	0.9	-	-
SS	600	2	-	-	2.9	-	-	1.7	-	-	3.1	-	-
ノルマルヘキサン 抽出物質	5	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-	0.5未満	-	-
亜鉛含有量	2	0.1未満	0.9	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄含有量	10	0.3未満	0.3未満	0.7未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
鉛及びその化合物	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
トリクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ジクロロメタン	0.2	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
四塩化炭素	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1-ジクロロエチレン	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,1-トリクロロエタン	3	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ふっ素	8	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
ほう素	10	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2	0.2未満
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380	0.2	-	-	0.3	-	-	0.3	-	-	0.2	-	-



本社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目3番28号

TEL 022-288-9201 FAX 022-288-9293

E-mail info@suzukitec.co.jp



エコミュージアム21 〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007 仙台市宮城野区仙台北二丁目14番地の3

TEL 022-254-0091 FAX 022-258-0403

E-mail eco-m21@suzukitec.co.jp



再生館 〈産業廃棄物 リサイクル施設〉

〒984-0002 仙台市若林区卸町東四丁目4番25号

TEL 022-287-0039 FAX 022-288-9293